

文京区男女平等参画に関する区民調査 調査項目(案)の考え方について

1 家庭生活について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問 1	問 1	家庭における役割分担	【変更】設問文：冒頭に「現在」を追加。 ・選択肢の書き方変更。(炊事―等の家事→家事(炊事―など))	回答者の現在の状況を把握するため。
問 1 - 1	―	家事を具体的にやっている人	削除	
―	問 2	家事等の負担感	新規	家事の負担感を量的に把握するため。
問 2	―	新型コロナウイルスの影響による在宅時間の変化	削除	感染症の 5 類移行から 2 年以上経過したため。
問 3 - 1	―	家事の量が減った理由	削除	
問 3 - 2	―	家事への負担感の変化	削除	
問 4	問 3	家族観・結婚観	【追加】ウ：事実婚のカップルを尊重する 【追加】オ：同性同士のカップルであっても、異性同士のカップルと同様の法律上の権利が認められるべきだ	

2 保育・教育について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問 5	問 4	学校教育で取り入れたほうが良いこと	変更なし	

3 男女平等への関心と意識について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問 6	問 5	各分野における男女の地位の平等感	変更なし	
問 7	問 6	男女平等参画に関する用語の認知度	【削除】旧オ：ドメスティック・バイオレンス(DV) 【削除】旧ク：SDGS 【変更】ス：育児介護休業法〈2009年改正〉 →育児介護休業法〈2014年改正〉 【追加】イ：ジェンダー主流化（注釈有） 【追加】ウ：アンコンシャスバイアス 【追加】カ：アライ(ALLY)（注釈有） 【追加】コ：プレコンセプション・ケア（注釈有） 【追加】サ：ウェルビーイング(Well-being) 【追加】シ：同性婚の法制化（注釈有） 【追加】ス：共同親権 【追加】チ：DV防止法 【追加】ツ：パワハラ防止法 【追加】テ：困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（注釈有） 【追加】ト：LGBTQ理解増進法 ・同性婚については、最高裁での違憲判決等昨今の訴訟経緯について注釈を追加。	時代に合わせ、調査する法律、制度等の一部を変更し、入れ替える。 【削除】DV：配偶者暴力の設問(31)があり、又前回調査時にも高い認知度があったため。 【削除】SDGS：男女平等は多くある項目のごく一部であるため。 【削除】男女雇用機会均等法：前回調査時時点で90%程度の認知度であったため。 【削除】ストーカー規制法(ストーカー行為等の規制等に関する法律)：前回調査時時点で90%程度の認知度であったため。 【変更】育児・介護休業法：改正年が古いため。

4 就労・職場について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問 8	問 7	回答者の職業	【変更】設問文：「一職業等」に修正。	家事、育児、学生等、「職業」に該当しない選択肢があるため。
問 8-1	問 7-1	職場における（仕事内容や待遇面での）男女での違い	変更なし	
問 8-2	問 7-2	働き方改革について、勤務形態や取り組み	【追加】帯同休業制度（注釈有） 【追加】リスクリングの支援（注釈有）	
問 8-3	問 7-3	働いていない理由	【追加】9：年金を受給しているため	全体の3割が「その他」に回答しているため、選択肢を追加。
問 9	問 8	性別にかかわらず働きやすい職場環境を作るために重要なこと	【変更】8：「リスクリング」の文言の追加 【追加】7：帯同休業制度 【追加】13：結婚後も姓を変えずに働くことができる	

5 女性の活躍について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問10	問9	女性が働き続けることに対する意識	【追加】4：ベビーシッターや家事代行等の外部サービスを利用しながら働くことには抵抗がある	家庭内労働について民間の第三者サポートを使うことへの抵抗感が女性活躍の促進に影響するの把握する。
問11	問10	女性の管理職登用など参画を促すために必要な支援	【変更】4：女性が働き続けていくことのできる相談体制の充実 →女性が安心して働き続けることができる相談体制の充実 【変更】6：女性の管理職への支援 →スキルアップ(リスクリング等)への支援 【追加】10：女性の家事、育児、介護等の負担軽減	

6 家庭生活と社会生活の両立について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問12	問11	「仕事」「家庭生活」「個人の生活」の優先度《希望》《現実（現状）》	変更なし	
問13	問12	社会全体として仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進するために必要なこと	変更なし	
問14	問13	育児休業、介護休業等取得しやすくするために必要なこと	変更なし	
問15	問14	育児や介護中に希望する働き方	【変更】2：両立支援制度を利用せず、自身で働き方を工夫して、正社員として働く →両立支援制度をなるべく利用せず、フルタイムの正社員として働く	「共働き・子育て」の観点から、早々に職場復帰して働きたいという選択肢へ変更

7 地域活動・社会活動への参加について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問16	問15	この1年間に参加した地域活動や社会活動	変更なし	
問16-1	問15-1	参加していない理由	変更なし	
問17	—	地域活動の会長の性別	削除	前回調査の結果では、ほぼすべての年代で「性別は問わない」とする回答が90%近くを占めていたため。
問18	問16	男女双方の視点を取り入れた防災対応として重要なこと	【変更】：設問文変更「男女双方の視点—」→「男女およびLGBTQ等の方の視点—」 【変更】6：—LGBTQ等の方—	性の多様性への配慮。

8 政策決定過程への女性の参画について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問19	問17	女性の意見が行政にどの程度反映されているか	変更なし	
問19-1	問17-1	反映されていない理由	変更なし	
問20	問18	政策や方針決定の過程に女性があまり進出していない原因	変更なし	
問21	問19	女性比率を増やすための方策	・設問文の最初に、「現在、女性のリーダーがなかなか増えないという状況がありますが」の文言を追加。	
—	問20	女性リーダー増加の影響	新規	女性リーダーが増えた場合の将来像を把握するため。

9 健康について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問22	—	この1年間の健康診断受診状況	削除	健康に関するニーズ調査(令和5年3月。6年ごとに更新)より、データの引用が可能であるため削除。
問22-1	—	受けなかった理由	削除	問22の削除に伴い削除。
問23	問21	女性が性や妊娠・出産に関して自分で決める上で必要なこと	変更なし	

10 人権問題について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問24	問22	各種ハラスメントを受けた経験	変更なし	
問24-1	問22-1	相談の有無	変更なし	
問24-2	問22-1-1	相談相手	【変更】2:「仕事関係者」を追加。 【変更】5:「SNS相談」を追加。 【追加】7: かかりつけの医師・看護師等の専門職 【追加】8: SNSへの書き込み 【追加】9: 民間の支援団体	前回調査にて「その他」の回答率が約40%と高く、偏りがあったため選択肢を追加する。
問24-3	問22-1-2	相談しなかった理由	変更なし	
問25	問23	身体的性別に悩んだり、身近な人が悩むのを見た経験の有無	変更なし	
問25-1	問23-1	実際に悩んだ場面	変更なし	
—	問24	男性特有の生きづらさ	新規	男性のジェンダー問題への意識を把握する。
問26	問25	社会における人権問題の対応状況についての考え	【変更】ア。(旧ア～ウを統合:トランスジェンダーの人の人権の尊重、性的指向に関する人権の尊重、LGBTQ等に関する差別の禁止や防止策) →LGBTQ等様々な性自認・性的指向を持つ人に対する差別の禁止や防止策 【変更】イ。(旧エ、オを統合:ストーカー被害や性被害に遭った人への支援体制、オ:ストーカー被害や性被害に遭わないための防止策) →ストーカー等性犯罪の防止策や被害者への支援体制 【追加】ク. 子どもの権利の侵害の防止や被害を受けている児童やその保護者への支援 【追加】ケ. 障害者に対する差別や偏見、虐待等の禁止・防止	障がい者や子どもの人権等、幅広い人権について設問内で触れていくため。
問27	問26	メディアにおける性や暴力表現についての考え方	変更なし	

1 1 性の多様性について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
—	問27	自身の性自認や性的指向	新規	他区の調査で多かった質問を取り入れる。
問28	問28	周囲のＬＧＢＴＱ等当事者の有無	【変更】：設問文「あなたは、—」を「あなた <u>の</u> —」に修正	
問29	問29	ＬＧＢＴＱ等であることを打ち明けられた時の対応	変更なし	
問29-1	問29-1	打ち明けられた際に対応が変化する場合	変更なし	
—	問30	性的マイノリティが暮らしやすい社会にするために必要なこと	新規	社会的な課題への意識を把握するため。

1 2 暴力の廃止について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問30	問31	認知している公的なＤＶ相談機関	・設問文「交際相手からの暴力—」に「（DV ドメスティックバイオレンス）」の文言を追加。	問7にて認知度調査から選択肢を外したため、注釈にて補う。
問31	問32	配偶者・パートナー、恋人等から被害を受けた経験、加害経験【身体的暴行、心理的攻撃、経済的圧迫、性的強要】	変更なし	
問31-1	問32-1	相談した相手（場所）	変更なし	
問31-2	問32-2	相談しなかった理由	変更なし	
問32	問33	ＤＶ相談窓口に配慮してほしいこと	変更なし	
問33	問34	ＤＶに対する対策や援助として特に充実させる必要があるもの	【変更】10：「NPO、医療機関、警察等」を追記。 【追加】2：身体的暴力だけでなく、精神的・経済的な加害・支配も暴力であるという認識の浸透・啓発	

1 3 【新規】困難女性支援法について

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
—	(問35)	【新規】現在の悩みや困りごと		困難女性支援法に伴う設問を新設する。(以下4問) 困難女性の現状を把握する。
—	(問36)	【新規】過去1年間に悩みごとや困りごとを相談した相手		
—	(問36-1)	【新規】相談しなかった、相談できなかった理由		
—	(問37)	【新規】今後利用したいサービス		

1 4（旧 1 3） 男女平等参画の推進施策・男女平等参画センターについて

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
問34	問38	男女平等センターの利用状況	・設問文にて愛称やR8.6再開について触れる。	
問35	問39	男女平等参画社会を実現するために 区が力を入れるべきこと	【変更】14：「多文化共生」という文言を追加。	
問36	問40	自由意見欄	変更なし	

※フェイスシート

前回番号	今回番号	項目名	変更点	考え方
F 1	F 1	性別	変更なし	
F 2	F 2	年齢	変更なし	
F 3	F 3	世帯構成	変更なし	
F 4	F 4	結婚の有無	変更なし	
F 4-1	F 4-1	世帯の就労状況	変更なし	
F 5	F 5	子どもの有無	変更なし	
F 6	F 6	介護の有無	変更なし	